



# 『牛井島』まで ツーリング

午前中、私たちはシーカヤックにのるの取材に行きました。今日は、ツーリングをするということだったので私たちもついて行ってみました。

沖の方に出ると、波も次第に高くなり、なかなか前に進むことが出来ずにみんな苦戦していたようです。あまりの波の強さにカヤックごとひっくりかえり子もいました。でもみんなが



ディリーなぎさ Vol.31  
編集:ディリーなぎさ編集部  
発行:なぎさの伝習所実行委員会

## 7月30日号



ばって、やっと島に着くことが出来ました。ちょうど昼食時だったので、その島で、シーカヤック名物の『牛井』を食べました。外で食べる牛井はやっぱりうまいね。みんな次々とおかわりをするので、一つ目の鍋はすぐにからっぽ。後で聞くと、牛井を食べる島は全部『牛井島』と、シーカヤックの人たちは呼ぶらしいです。

昼食後、しばらく遊んでから、松瀬海岸に向けて、一斉に漕ぎ出しました。帰りは、向かい風が強く、波も高かったため行く時以上にみんな苦戦していたようです。

島に着いたときの感想を何人かの子にたずねてみました。田中朋世ちゃん「遠かった」。片山瑛一朗さんと山口太己くんはきつかったけど、島に着いたら楽しかった。吉浦勇くんは、楽勝だったとそれぞれ違った感想を述べてくれました。

シーカヤック名物の牛井を食べたい人は、来年参加してみてもいいですか? (ゆみこ)

アルファ

# 波出まくり!! 手作り楽器で素晴らしい演奏。

七月二十八日の午後、音をつくるの取材に、文化センターホールまで行きました。ちょうどその時、楽器ができてあがっていました。

その楽器は、イチジクという硬い木と、ひょうたんやピアノの弦(十九番)を張って作ってありました。楽器名は『ピリンバウ』といって、一万五千年前の一番古い弦楽器で、アフリカで使われていたという説があるそうです。

ピリンバウはイチジクの木をまげて、ピアノの弦を張って作っていました。それに、ひょうたんの下の部分をひもで結びつけます。

ひょうたんの上の部分はマラカスに使用します。底の部分にはあきかんの底を使っていて、中には、ひょうたんのタネを入れます。マラカスには、やきごてで自由に顔をかいていました。

ピリンバウの使い方は、ばちで弦をたたいて、音の調整をするときは、ひょうたんの下をおなかに近づけたり、離したりします。ピリンバウにつけたひょうたんは、共鳴の箱代わりだそうです。

作った後の感想を聞くと、「難しかった。や、いちじくの木を曲げるのが大変だった」などがありました。

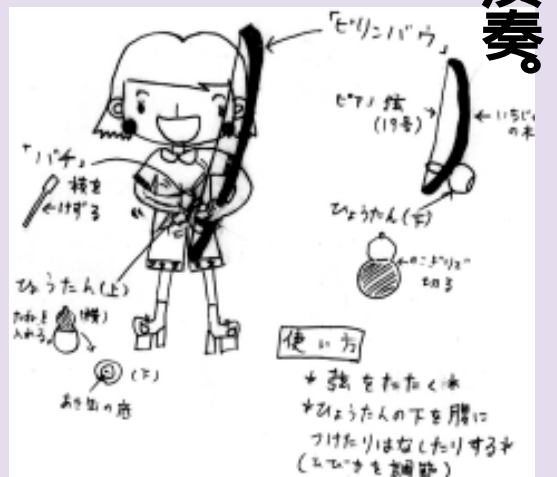
作った楽器を使って、七月三十日の午前中、ディサービスセンターで、演奏をしていました。

取材にいったら、ピリンバウやギターや太鼓? (や貝)がらをいれて和紙をはったみかん箱などで演奏して

ました。

水の流れる音のする楽器から始まり、いろいろな場所にちなんだ音楽が演奏されていきました。貝からの入った箱は、とても幻想的できれいな感じがしました。ピリンバウの音は弦を弾いて出しているの、音の強弱と高低が変わる不思議な楽器でした。

演奏が終わった後に、おじいさんやおばあさんたちにインタビュをしてみました。とっても技術が優れているや、変わった音色がよかったや、初めて聞いたなど、いろいろな返事がかえってきました。そのなかには、初代『大工修業』の頭梁がいました。その方はなぎさでもらった帽子を大事そう



にもってました。何だか、ちよっぴり嬉しくなりました。本当に美しい演奏なので、波が出て眠たくなってしまいました。音楽に興味のある方はどうぞ一度参加してみてもいいですか。(まなみまみ)

### ワーク「鹿町の自然を体験する」 7月28日の探検コースと仲間たちの短い感想のことは

- コース
- 午前9時半 鹿町町加勢・マキの家出発11の時上野 ここから山道に入り木道到着
  - 11時12分 大観山登りローでんぐ岩で昼食 午後1時出発1水のみ道でしばらく休んで午後3時マキの家に着る。後、一言感想や見つけたものを書き出したりする。
  - 夜8時から9時半 夜の海でテコウテコウを探したり、泳いだり、焼きイモをしたり。(これは明日の感想会で話されるでしょう。)
- 仲間たちの感想
- 津平 ……でんぐ岩にすわって見た景色がきれいだった。
  - 愛 ……山の中のけわしい道を歩いた時、いろいろなこんどや植物を見つけてびっくりした。楽しかった。
  - 華 ……山道でしりもちついたりしたけど、でんぐ岩までついて「ここまで来てよかった」と思った。
  - 晴香 ……でんぐ岩は長山山より高かった。岩にのぼるのは少しこわかったけど、景色がきれいよかったです。
  - 智秋 ……でんぐ岩から山の水壩に降りて、冷たい水で顔を洗った。「ここまで来てよかった」
  - 新々 ……たくさん歩いてちよっぴりきつかったけど、冷たい水がのめてよかった。
  - 香美 ……地図で今日のコースを見たときゾッとしたり、雨の中をけわしい道を歩くのはきつかった。帰りに道に水をのんだ時「良かった」
  - 雅也 ……山の水のみ道で冷たい水の中に顔を10回つけた。とても気持ち良かった。
  - 浩気 ……マキの家からでんぐ岩までは、すごく遠いと思った。でんぐ岩に着いて「これくらいなら、いつでも歩ける」と思った。
  - 林太郎 ……「やっばり自然は美しいし、心がなごむ」という印象が強かった。
  - マキ ……人間の足はすばらしい!とくに子どもたちは元気だ!

# 漫才コンビができそうな 笑い・怒り・涙・緊張のホームステイ!

七月二十九日の夕方、私は吉村さんのお宅にお邪魔しました。丁度、ホームステイ先の子と、宮木先生の所にホームステイしていた子が一緒に集まって、焼き肉をしているところでした。私も、ちょっと一口(?)食べさせてもらって、吉村さんの家にホームステイしている子にインタビューしました。

まず、長崎市から来た小学六年で『シーカヤック』の城野剛輔君、なぎさ『二度目の参加で鹿町の印象は、いろいろなことをやっているだそうです。なぜ、なぎさ』に入ったのかは、吉村隆樹さんが剛輔君のお母さんと知り合いで、『なぎさ』に誘ったということ。剛輔君は、いつもおやじギャグの寒い『シャ

## 海のくらしをする

小五 川越拓摩

一日目は造船所で、船のそつじをしました。昼からは、船にペンキをぬりました。とてもきつかったです。

二日目は、船にのりました。リーダーや、いろいろな機械などを見学しました。シケていたので船がゆれて楽しかった。

昼からは、イリコの箱詰めを手伝いました。そして、自分の家におみやげにするイリコも箱詰めしました。しかし友だちと夜に遊ぶのが楽しいです。

明日は、イカダで魚にエサをやる予定なので楽しみにしています。



しを言っています。

次に、同じく長崎市から来た岩永崇君にも話を聞きました。今年初参加で、『なぎさ』に入った理由は、『剛輔から聞いたから』だそうです。崇君は、最初は緊張しておとなしかったけど、慣れると本性を現して剛輔君と一緒に楽し

て、漫才でもできそうな感じでした。次に、遊びに来ていた、友禪和紙の藤村美幸ちゃんにインタビューしました。美幸ちゃんは、昨年吉村さんの家にホームステイしていたそうです。鹿町の印象は、『田舎』だそうで、何故このワークシヨップに入ったのかは、やったことないから『だそうです。』

そして、山本晃子ちゃんを取材しました。晃子ちゃんは今年三回目の参加で、『一昨年に吉村さん宅にホームステイしたそうです。』なぎさ』を知った理

## なぎさで一句

前々回のお題『夏・夏休み』で紙面の都合で掲載できなかったものから……

夏休み 今年も海で 焼けましょう  
(浜崎瑛莉 中一 リトルシエフ)

夏休み ふつりんの音 きれいだな  
(森田美沙樹 小四 リトルシエフ)

夏くれば 一番ほしい かき氷  
(永井綾夏 小六 リトルシエフ)

元気にすごそう 夏休み  
(松田祐希 中一 リトルシエフ)

夏休み 暑い『なぎさ』が やってきた  
(松永春香 中一 リトルシエフ)

つゆがあげ 今年の夏は 何しよう  
(末永有貴 中一 リトルシエフ)

夏休み とつてもうれしい ことばかり  
(山口ひかり 小四 リトルシエフ)

夏休み みんなでわいわい なぎさだね  
(松田成美 小六 リトルシエフ)

さらに昨日のお題『田舎』……  
海光り 空気が澄んだ いなか町  
(須藤純 中一 友禪和紙)

いなか町 なぎさの勉強 ひな人形  
(内野悠 小六 友禪和紙)

いなかとは 自然がたたくさん あるところ  
(山崎沙織 小六 友禪和紙)

いつかまた 帰っておいで この町に  
(藤村美幸 中二 友禪和紙)

いい町だ! わたしの町は いなか町  
(江口華代 小五 友禪和紙)

鹿町の きれいな景色 絵に描きたい  
(山本瞳 小六 友禪和紙)

田舎では 自然の良さが よく分かる  
(上妻めぐみ 小六 友禪和紙)

いなか暮らし 上手になるよ 手作り  
(ジェシカ・スウィート 小四 友禪和紙)

楽しみの なぎさは雨に たたられる  
(横尾雅子 WS担当 友禪和紙)

鹿町は 自然がいつぱい いい町だ  
(太田祐子 小五 友禪和紙)

いなか町 草も魚も いきいきと  
(西村トシ子 アシスタント 友禪和紙)

明日のお題は『なぎさ』。夜のレクレーションのときに考えてね。

## 民宿『海の幸』で 第十四の ワークシヨップ?!

『音をつくる』の講師、丸山さんはなぎさの期間中、『海の幸』に宿泊されています。そこにはなぎさに参加している男の子も六人宿泊していて、毎晩、色々な出来事があるそうです。ちょっと気持ちのすれ違いがあつて険悪な雰囲気になったり、それを乗り越えてみんな仲良くなったことや、ズボンが二階から落ちて途中で引っかけたり、みんな四苦八苦して取ったことなど聞かせて頂きました。昨夜は六人全員の誕生会をやったそうです。シヨートケーキを買いに行き、それを囲んで、丸山さんがつま弾くギターで、一人一人のたのめ、『ハッピーバースディ』をみんなで歌ったそうなんです。ものすごく良い雰囲気でした。心で接するとみんな友だちになれるんですね。丸山さん、『海の幸』でのホームステイはまるで一四番目のワークシヨップですね。きつと他のホームステイ先でもそれぞれで素敵なお思い出が作れた事でしょう。(吉村)



編集後記

昨日のディリーなぎさは、誤字が多かったです。これからは注意して作りますが温かい目で見守っててください。